

科目名	総合実習 (Integrated Clinical Nursing Practice)			科目コード	245
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数(時間)	2単位(90時間)
科目区分	専門科目	履修時期	4年次前期	関連DP	看①②③④⑤
担当教員	看護学科全教員(基礎教育講座教員を除く)				
実習内容	臨地実習の最終段階として、各看護学で学んできた知識・技術・態度を統合し視野を広げること、自己の看護観を深めることができる。				
実習目標	1. 看護管理の視点と実践とのつながりを理解できる。 2. 優先順位や時間管理等を考えながらチームの一員として行動できる。 3. 自ら課題を見出し、達成に向けて行動することができる。 4. 主体的に、体験からの学びを振り返り、統合・共有・発展することができる。				

授業計画

実習内容	
1. オリエンテーション	<p>実習可能な施設・病棟の説明を受け、希望票を提出する。            学生の希望をもとに実習場所を調整し、学生ホールに掲示する。</p>
2. 総合実習準備週間	<p>展開例を参考に、実習指導教員と相談し実習期間中の具体的な行動計画を立てる。            クラス全体で体験交換会を企画し、開催に向けての準備を行う。</p>
3. 臨地実習	<p>1) 実習期間 実習要項に記載            2) 実習場所 愛媛県立中央病院、伊予病院、愛媛大学医学部附属病院、松山記念病院、松山赤十字病院            まつやま助産院、訪問看護ステーションみちくさ            3) 実習展開の方法            目標1の展開例：看護管理責任者や病棟管理者、認定看護管理者からの臨床講義            管理者またはリーダーナースのシャドウイング            目標2の展開例：複数患者の受け持ち、看護チームの一員として看護過程の展開・申し送り            外来や他病棟の看護師との連携・協働場面に参加            職種横断的なチーム活動の臨床講義            多職種カンファレンスへの参加</p>
4. 体験の統合・共有	<p>個別に実習体験を振り返り、学びを言語化するとともにグループで共有・ディスカッションする。            チームプレゼンのテーマを決定し、発表準備を行う。 体験交換会の開催準備を分担して行う。</p>
5. 体験交換会	<p>目的：学生同士または指導者と学びを共有し、積極的に意見交換を行うことで看護観を発展させる。            日時：実習最終日の午後            場所：大学内 会場に分かれて実施            参加者：学生、教員、臨地実習指導者・看護管理者            運営：会場設営、司会・進行・受付は学生が担当する。</p>
成績評価方法	実習目標到達度の自己評価(100点)をもとに担当教員が評価する(100点)
教科書	各領域の教科書を用いる
参考図書等	各領域の参考書を用いる
授業時間外の学習について	実習準備期間に教員と相談する
関連科目	これまでに履修したすべての科目
備考	<p><b>実</b> 看護学科全教員：看護師(医療機関) 保健師(保健所) 助産師(医療機関)            実習時間 原則 8:30~16:30            ※実習内容により、担当教員および実習指導者の許可を得て、最長19:00までの延長を認める(例：手術直後の看護や夜間に面会がある家族への退院指導等)。</p>

看護学科  
(24カリ)